



▲伯太クラブジュニアの皆さん。伯太町内の小学校で、月・水・金曜日と、不定期に土日に練習しています。



かつて、月山富田城を拠点に中国地方に覇を唱えたのは尼子経久公。今、同じように中国地方の小学生バレーボール界で、一目置かれていたのが女子バレーボールチーム「伯太クラブジュニア」です。8月に鳥取市で開催された「第33回小学生バレーボール中国大会」では、各県の代表チームを制して優勝。見事、中国一になりました。鳥根県内のチームが優勝するのは12

中国大会で優勝、目指せ全国大会 「伯太クラブジュニア」(伯太町)

同チームは少子化の影響で、伯太地域の4つのチームが一つになって平成23年に発足。2年生以上の部員15人で活動しています。また、現在は伯太町外からの部員も加入しています。このため安部さんは「みんなにはなるべく話しかけるようにしています。5年生も力をつけてきました」とチームをけん引。この日も6年生を中心に体育館中

年ぶりのこと。出場が決まっている10月のセンバツ県大会での優勝と、3月の全国大会出場を目指して練習に熱が入ります。「優勝するつもりで臨みました。勝ったときは嬉しいよりホッとしました」と中国大会を振り返るのは、キャプテンの安部颯香さん。自身のチームは「速攻が得意で攻撃型のチーム」と分析します。3人のスパイクを打つ選手が他の選手の守りに支えられながら得点を稼いでいくというスタイルで、同大会ではすべてストレート勝ち。決勝戦以外は全て約10得点の差をつけての勝利です。



▲コーチから次々と放たれるボールを声を出しながらみんなで返していきます。

に声が響き渡ります。キャプテンの安部さんに誘われてバレーボールを始めたという副キャプテンの仁田羽姫さんは、「中国大会で優勝したので、(他県のチームに)追われる立場になりました。もつと厳しい練習を続けていきたいです」と話し、「夏の全国大会に出場できなかつた悔しさを、これから開催される冬の全国大会を目指してぶつけていきたい」と目標を明かします。

積極的に攻めるプレーを得意とする伯太クラブジュニア。来年3月の全国大会では、全国から注目されているチームになっていくことでしょう。

▼今年も熱戦を繰り広げた自治会親善野球大会。昔に比べてユニフォームが増えたように思えます。一方、私の自治会はユニフォームを揃えるどころかギリギリの人数で出場。結果は負けてしまいました。思ったより良い試合に。意外なチームが活躍するのもこの大会の魅力です。(旬)

▼体育館は蒸し暑く、撮影していた手を止めると汗でびっしょり。チームの強さを垣間見た気がしました。取材を終え帰ろうとしたとき、駆けつけた部員たちが整列後、あいさつ。慣れないことをされ、どんな言葉をかけたか忘れてしまいました。でも、大汗を忘れやかな気分です。帰路につきました。(の)

編集後記

安来市の人口と世帯数 R1.8.31現在

人口合計 / 38,546人
(男:18,515人 女:20,031人)
世帯数 / 14,381世帯



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。